

肌の老化の80%は紫外線による「光老化」。 万全な光老化対策と日焼け止めの選び方

紫外線が皮膚に与えるダメージの大きさが広く知られるようになりました。正しいUV知識と有効なUVカット商品で
きっちり紫外線をはね返して、夏を満喫！ 秋になって夏の悔いを残さないお手入れを続けましょう。

紫外線ダメージを 皮膚に蓄積させない

「最近シミが目立つようになった」「目の元のシワやほうれい線が深くなった」。そう思うことが増えても、年のせいだから仕方ないと思いませんか。

加齢による肌の老化は2割ほど、のこりの8割は、日光にさらされて起こる光老化（ひかりろうか）によるものなのです。

光老化とその対策について、モアコスメティックスの亀田宗一社長に聞きました。

——すべての紫外線が光老化の原因になるのですか。

亀田社長（以下略）「太陽光のうち目で色として識別できる光を可視光といいます。可視光のうちいちばん波長が長いのが赤でいちばん短いのが紫。その紫よりも波長が短い光が紫外線で目に見ることはできません。その紫外線も波長の長い順に、UVA、UVB、UVCと呼ばれ、生物遺伝子の影響はUVCが最も強いのですが、UVCはオゾン層で吸収され地表までは届き

ません。目には見えず地表に届く、UVAとUVBが光老化を引き起こすというわけです」

——紫外線の危険性と肌への影響を教えてください。

「紫外線が地表まで降り注いでも、肌には本来UVバリア機能が備わっています。角層ケラチン、ケラトヒアリン顆粒、メラニン色素などがそうで、紫外線を散乱したり吸収したりするのですが、一部は肌の深部までたどり着きます。表皮に炎症を起こしてサンバーンの原因になったりもします。特にUVBはDNAの損傷を引き起こします。

一方、UVAは真皮深く到達して、真皮のコラーゲンやエラスチン、線維芽細胞にダメージを与えます。このダメージが蓄積すると、肌の構造が壊れて、深いシワやたるみが生じることになるのです」

「紫外線吸収剤」を含まない日焼け止めがベスト!

——紫外線を防ぐために外出を避けるわけにもいきません。

「外出には帽子や日傘、UVカッ



ト効果のある衣服を着て、肌の露出する部位には日焼け止めを塗るのがいいでしょう。ただ、UVAは窓ガラスを通して降り注ぎますから、室内だからと安心はできません。

日焼け止めを選ぶ際にも注意が必要です。紫外線カット成分はその紫外線をブロックする働きから、紫外線吸収剤と紫外線散乱剤に分かれます。

紫外線吸収剤は、肌の上で紫外線を吸収し熱エネルギーに変えて防ぎます。その熱エネルギーが肌に刺激になります。さらに、昨年の夏、「ハワイで日焼け止めが禁止された」との報道がありました。オキシベンゾンとオクチノキサートという2成分が入った日焼け止めが2021年から使えなくなるというものです。まさにこの2成分が紫外線吸収剤で、サンゴを死滅させるからというのが禁止の理由ですが、地球環境から見ても使用は避けるべきでしょう」

——バーデンスは紫外線散乱剤しか使っていません。

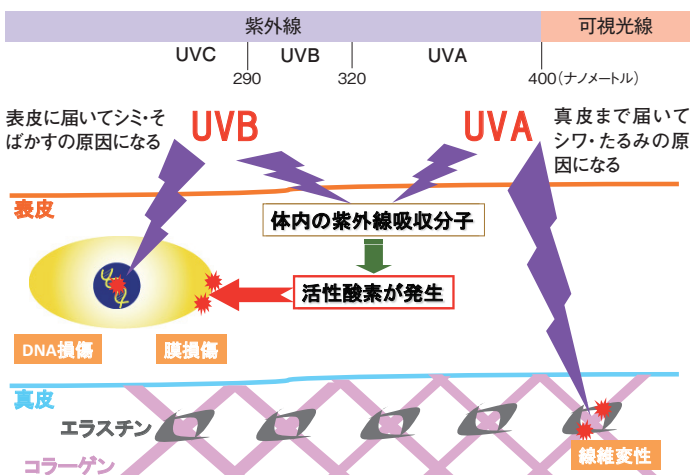
「はい、紫外線散乱剤はというと、肌の上で紫外線を反射させ

るだけのため肌にやさしい紫外線カット成分です。ではなぜ、いま発売されている日焼け止めの9割に紫外線吸収剤が使われているかということ、紫外線散乱剤だけでは高いUV指数を得られない、白くなって使い勝手が悪いと思われるからです。バーデンスのサンシェードは、紫外線散乱剤だけで最高値のUV指数を可能にしています」(次ページ参照)

——髪へのUVアイテムも増えています。

「日焼け止め化粧品として表示できるのは肌用だけで、毛髪用の日焼け止めはそもそも認められていません。なぜなら、肌は生きた細胞でDNAを損傷するリスクをもっていますし、防御するしくみももっています。しかし、髪の毛は死んだ細胞ですし、SPF値やPA値を測ることはできません。ですから、毛髪用の日焼け止めスプレーが紫外線防止をうたうことはできないのです。それにもかかわらず、毛髪用紫外線防御商品として売られている商品には注意が必要だということです」

紫外線の種類と皮膚への影響



皮膚刺激のない紫外線散乱剤だけを使用!

肌へのやさしさと高いUVカット指数を両立させたバーデンスサンシェード

散乱剤だけで長時間、確実にUVをブロック

前ページでもご紹介したように、紫外線防御剤には皮膚刺激になる〈紫外線吸収剤〉と、肌にやさしい〈紫外線散乱剤〉があります。それがわかっているのに、市販されている日焼け止めの9割には〈紫外線吸収剤〉が配合されています。

それは、紫外線散乱剤だけでは、高いUVカット値を出せないことや、塗ったときに白くなってしまうという問題があるからです。もうひとつ、一般的に紫外線散乱剤はUVB（波長290~320ナノメートル）に対する防御効果が弱いといわれているためです。

ご安心ください。『バーデンスサンシェード』は、紫外線散乱剤だけを使い、〈SPF50+・PA++++〉という最高の紫外線防御機能を備えています。

バーデンスは紫外線散乱剤が抱える弱点を、散乱剤である酸化チタンと酸化亜鉛を超微粒子化し、さらに特殊分散技術を駆使して散乱剤を高濃度で配合することで解決しました。

夏場などの強いレジャー紫外線（UVB）を防ぐ指標であるSPFはもちろん、浴び続けることでシワやたるみなどを引き起こす生活紫外線（UVA）を防ぐ指標であるPAも国内基準最高クラスの機能があることが、第三者外部試験機関で証明されています。

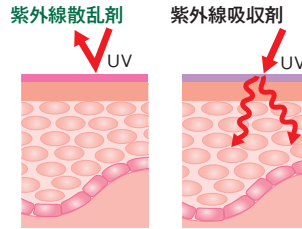
「日常生活ではSPF15、PA+くらいでいいのでは?」「数値が上がるほど重たい感じになるのでは」と思われた方へ。

それは紫外線吸収剤のデメリットです。散乱剤だけでは軽いつけ心地で、特殊分散技術により使用時のべとつきや白浮きの心配もありません。汗や皮脂にも強い処方ですし、SPF50+・PA++++なので、長時間つけ替えは不要です。そのうえ、セラミドポリマー、レシチンポリマーの配合によって、素早く肌になじむのにべたつくことはなく、サラッとしていて、しかも乾燥から肌を護ります。

1日中、家族全員の肌をUVから護る

さらに気をつけたほうがいい生活のポイントも覚えておいて

紫外線防御メカニズム



◀紫外線を吸収して熱エネルギーに変換することで防ぐ「吸収剤」は刺激強いのに比べ、紫外線を反射させて防ぐ「散乱剤」は、皮膚刺激がありません。

	防御のしくみ	物質	代表的な素材
紫外線散乱剤	紫外線の散乱	無機化合物	酸化チタン 酸化亜鉛
紫外線吸収剤	紫外線の吸収 エネルギー転換・放出	有機化合物	ベンゾフェノン系 ケイ皮酸系 サリチル酸系 安息香酸系 ジベンズイルメタン系

ください。

紫外線がもっとも強いのは、午前10時~午後2時。この時間帯にはいっそうの注意が必要です。家にいるからといっても、UVAは窓ガラスを通してダメージを与えます。もちろん、外で洗濯ものを干したり、ガーデニング作業には注意が必要です。

また、サンシェードの使い方

にもポイントが。量はサクランボ大、出かける30分前には塗っておきたいものです。また、顔だけしか塗らない人も多いのですが、うなじや首、耳全体、手の甲なども意識して塗るようにしてください。

お肌の弱い方やお子さまはもちろん、日中外出することが多い方、日焼けを気にしてアウトドアスポーツを避けていた方、男性にもぜひお使いいただきたい日焼け止めです。

SPF

(Sun Protection Factor)
肌が真っ赤になり(サンバーン)、水膨れができたりする波長の短いUVBの防止効果の目安。SPF50までの範囲で表し、50を有意に超えると判断されたものは「50+」と表します。

PA

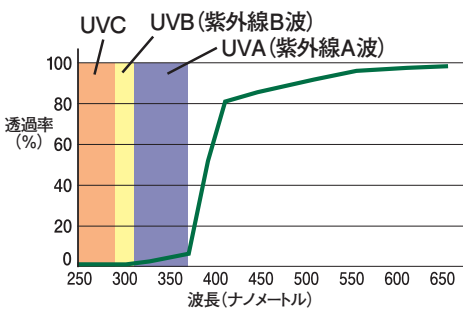
(Protection grade of UVA)
皮膚を黒くして肌の老化を引き起こすUVAを防いでくれるPAは4段階に表示されます。PA+、PA++、PA+++、PA++++で、紫外線量が多い時期やレジャー、スポーツではプラスの多いものを。



バーデンス サンシェード (日焼け止めローション)

25ml 3,500円(税抜)
SPF50+・PA++++

すべてのUVを完全ブロック!



◀紫外線のうち地上に届くのは、UVAとUVBの2種類。バーデンスサンシェードは、シミ・ソバカスの原因になるUVB、真皮に届きシワ・タルミの原因となるUVA、どちらも完全にブロックします。

UVカット効果をアップする正しい使用方法

意識して塗りたい部位



①量はサクランボ大



▲プロテクターのあとに、適量を手にとり顔に伸ばす

②塗りかた



▲頬やまぶた、鼻、あご先、フェイスラインまで塗る

③ファンデーションを重ねる



▲紫外線防御効果をもつエマルジョンファンデを重ねて完成!

ハッカの清涼感・爽快感がクセになる 夏こそ使いたいメントンシャンプー

頭皮の炎症をしずめ スツクリクールダウン

夏場は紫外線ケアのほかに気をつけたいのが、高温による皮脂と汗対策です。汗をかいたらすぐに洗ってサッパリしたいもの。いつもより、シャワー回数も増えるため、何で洗うかが重要になってきます。

まずはシャンプーから。頭皮は毛穴が多く、皮膚と比べても汗や皮脂の分泌量が多いにもかかわらず、簡単に洗うことができませぬ。そのため、市販のシャンプーの洗浄力は洗顔料などより高くなっています。

硫酸系やアミノ酸系などの刺激の強いシャンプーは、髪にも頭皮にも、もちろん顔にも刺激となります。しかも触れる回数まで増えるとしたら……。

ぜひ、そんな夏にこそおすすめ

めしたいのが、ハッカの香りの『バーデンス メントンスカルプシャンプー』と『バーデンス メントンスカルプトリートメント』です。

洗浄剤は、高い洗浄効果もちながら低刺激洗浄剤として特許を取得しているお酢系洗浄剤の「ラウレス-3酢酸アミノ酸」(特許第5057337号)。夏の頭皮はお肌と同じように、乾燥、紫外線、アレルギー、ストレスにさらされ、防衛策として炎症反応が起きてしまいます。そんなトラブルをしずめてくれるハッカ油に含まれる香気成分の〈メントン〉と〈シネオール〉(特許番号2008-314808)を配合しています。モアコスメティクスが発見したこの香りには、リフレッシュ感と、デオドラント効果があるので、この季節にぴったりです。

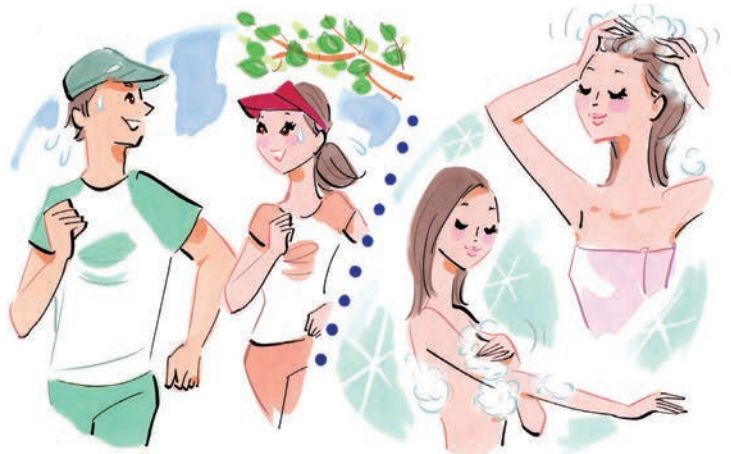


バーデンス メントンスカルプシャンプー

250mlボトル	2,000円(税抜)
500mlボトル	3,500円(税抜)
400ml詰め替え用フィルムサンプル	2,500円(税抜)

バーデンス メントンスカルプトリートメント

180gチューブ	1,800円(税抜)
500gボトル	4,000円(税抜)
400g詰め替え用フィルムサンプル	2,900円(税抜)



繰り返し洗っても サッパリ&しっとり

汗でベタつく体をサッパリしたいときは、『バーデンス ボディシャンプー』で、汗も皮脂も洗い流してください。

以前はバーデンスのシャンプーで体も洗うことをおすすめしてきたのですが、それではしっとりしすぎる、という声

に代えて、発売されました。肌にやさしい「ラウレス-3酢酸アミノ酸」に石けん成分を加えて、サッパリ、とした洗い上がりを実現しました。

汚れはきちんと落としながらも、必要な皮脂は奪わずに、繰り返し洗ってもサッパリ&しっとりお肌が続きます。デリケートな肌の方はもちろん、乾燥が気になる方、赤ちゃんからお年

寄りまで、安心して洗えます。

リフレッシュ効果のあるみどりの香りで、心も体も癒されてリフレッシュできます。

そのうえ、洗顔用としてもハンドソープとしても使えます。

(詳しくは下の図参照)

家族全員の全身のお肌をやさしく洗い上げるボディシャンプーを、メントンのシャンプーボトルと並べてご使用ください。

シャワー回数が増える夏でも安心! 石けんよりやさしいボディシャンプー



バーデンス ボディシャンプー

500mlボトル	3,500円(税抜)
400ml詰め替え用	2,500円(税抜)

こんな使い方もおすすめ!

●洗顔用として



1 2 1
水
ボディシャンプー

◀ディスペンサーボトルにボディシャンプーと水を1対1に希釈して、泡ネットで泡を作り洗顔用。

●ハンドソープとして



1 2
水
ボディシャンプー

◀泡ポンプのディスペンサーボトルにボディシャンプーと水を1対2に希釈して、ハンドソープに。

※水で希釈しても、石けん成分が配合されているため高い防腐効果があります。

この季節におすすめ！ 紫外線による髪対策アイテム

紫外線を浴びる髪の毛を保護して老化を防ぐ バーデンスヘアケアシリーズで新美髪習慣！

髪の毛を護って装うから サラツヤヘアを1日キープ

髪用のUVケアとうたうことはできませんが、髪にも紫外線は容赦なく降り注ぎます。

髪の紫外線対策には、髪を保護する『バーデンスヘアプロテクター』〈保護と修復〉がおすすめ。セラミドポリマー（保

護）とレシチンポリマー（保湿）が、ドライヤーの熱、ブラッシングの摩擦、紫外線ダメージ、タバコのニオイから髪を護ります。

ドライヤーで髪を乾燥させるときには、枝毛をしっかりコートしてくれるヘアプロテクターが欠かせませんが、うるおいをなくしたパサパサ・ツヤなし髪

には『バーデンスリペアエッセンス』〈保湿と彩り〉を、アウトバストリートメントとしてブロー時にお使いください。

市販のトリートメントオイルを使って、夕方には油でギトギトベタつくという経験をした方も多いのではないのでしょうか。それは、配合された合成油がドライヤーの熱や紫外線で加水分解を起こし、夕方になるとベタつくためです。

『バーデンスリペアエッセンス』

は、100%天然植物油処方ですから、夕方になってもサラツヤヘアが続きます。また、髪を装う華やかな香りが1日中続くのも、女性にはうれしいポイントです。

共通成分としてグアイアズレンという濃青色の天然由来色素成分が配合され、白髪の黄ばみを抑えて目立たなくし、黒髪には一層ツヤを与えてくれます。さらに、下表の髪のダメージ別の適切なケア方法も参考にしてお手入れしましょう。



髪のダメージ別おすすめ使用例

髪の傷み度	お出かけ前	トリートメント時	ドライヤー前
健康毛 ☆☆☆		髪になじませてブロー 	髪にスプレーしてドライ
やや傷みがち ★☆☆			半乾きになったらオイルをなじませドライ +
ダメージヘア ★★☆		+	+
深刻な傷み ★★★	バーデンスサロンにご相談ください。あなた限定のメニューをご用意しています。		トリートメントにオイルを混ぜて使う +

「地域未来牽引企業サミットin広島」に モアコスメティックスも参加しました！

2019年春号のバーデンス通信で、経済産業省が推進する「地域未来牽引企業」にモアコスメティックスが選ばれたことをお伝えしました。「地域未来牽引企業」とは、各地で地域経済をリードし活性化していくことが期待される魅力ある企業として、経済産業省が選定するものです。

この選定企業の情報交換やコミュニケーションの場として「地域未来牽引企業サミット」が開か

れています。

2019年5月25日、令和初のサミットが広島で開かれました。世耕弘成経済産業大臣、湯崎英彦広島県知事、松井一實広島市長、全国の選定企業235社などが参加し、パネルディスカッションや情報交換が行われました。

モアコスメティックスからは亀田社長が参加。閉会後には経済産業大臣との記念写真撮影が行われました。



▲世耕経済産業大臣(左)とモアコスメティックスの亀田社長

Badens
Column
MORE PRESS

オイルやクリームを使った ヘッドスパに注意！

最近ヘッドスパをメニューに加えるヘアサロンが増えてきます。その気持ちよさやリフトアップ効果に加えて、健康な頭皮と毛髪には欠かせないメニューだからです。頭皮をやさしくマッサージして、シャンプーで落としきれない毛穴に詰まった汚れや皮脂を落として健康な髪の毛を育てるのがヘッドスパの目的です。

しかし、それを可能にするの

はシャンプーでのマッサージだけ。オイルやクリームでのマッサージは、毛穴に詰まった汚れを取り去るどころか、毛穴深くにさらに押し込めるだけ。気持ちよさはあっても健康な頭皮環境を整えることはできません。

それを知っていても、オイルスパやクリームスパが行われるのは、肌に長時間つけたままでマッサージできるシャンプーを持っていないからです。

※バーデンスブランド、ジュエキブランド製品は、すべてサロン専売品です。サロン以外で購入された商品は、モアコスメティックスは品質の保証は一切いたしません。